

## 第4次城陽市総合計画について考える

# 市民まちづくりワークショップ かわら版 第3号



### 第3回市民まちづくりワークショップを開催しました！

- ▶ 第3回市民まちづくりワークショップを平成28年2月29日（月）に、福祉センターにて開催致しました。今回は、次期総合計画のベースとなる「今後10年間で城陽市がめざすまちの姿（キャッチフレーズ）」及び「まちづくりの目標（政策目標）」について3グループに分かれて議論頂きました。また、ワークショップの後半では、各グループで出された意見をもとに全体での意見交換を行い、まちづくりの方向性について全体で意識の共有を行いました。

#### － 当日のスケジュール －

- 14:00～ 開会
- 14:05～ 本日の予定及び本日のワークショップの進め方
- 14:25～ 議論のポイント
- 14:30～ ワークショップ  
「10年後の城陽市がめざすまちの姿及びまちづくりの目標について」
- 16:30 閉会

### ～ワークショップでの議論のポイントについて小島先生からアドバイス～

自分の意見とともに、他人が課題に対してどのような考えを持っているのか共有することが重要となります。今回は、これまでのワークショップの結果等を踏まえ、まちづくり目標の再整理を行っていますが、再整理した背景を踏まえたうえで検討することがポイントとなります。また、企業の進出による雇用の創出が期待されていますが、城陽市の働く人の総数からすると数%に過ぎません。それでも大きな変化となることには変わりはありません。つまり、コミュニティ活動の担い手など、他の分野でも数%の変化を大切にすれば、城陽の「強み」をより魅力的にすることができると考えてみるのが大切です。



小島先生のご講演

### ～今後10年間で城陽市がめざすまちの姿（キャッチフレーズ）について、事務局案に対する意見交換を行いました～

#### 事務局案 ～人が集まり、にぎわいが生まれる山背五里五里のまちづくり～

五里五里について、単に京都と奈良の中間というだけでなく、城陽が近畿の要の位置にあることを示す、活力に変えるという意味を持たせる必要があるなどの意見が出されました。また、「都市の良さ」「田舎の良さ」の両面について意見が出されました。

#### ■各グループにて出された主な意見

A	B	C
<p>●五里五里</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞いた時に分かりにくい →あえて理由を聞いてもらうことで理解を深める効果もある</li> <li>「山背」を見直すべき</li> <li>京奈中間で「ごりごり」とふりがなをふってもよいのでは</li> </ul> <p>●住民・人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人が集まり」ということを重視すべき</li> <li>にぎわい→つながりに見直すべき</li> <li>人が集まり 人が育ち 人中心のまちづくり</li> <li>子育てしやすいまち</li> <li>高齢者にとってやさしいまち</li> </ul> <p>●花・緑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花と古墳と光のまち城陽</li> <li>緑あふれるまち城陽</li> <li>緑豊かで陽光の輝くまち（明るく心豊かならぬ合いのできるまち）</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住みたい、住んでよかったまち城陽</li> <li>なつかしくほっとするまち城陽</li> <li>魅力という言葉を入れる</li> </ul>	<p>●歴史・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史豊かであり、文化都市をめざす</li> <li>落ち着いたたたずまい、安定（安らぎ）</li> <li>歴史的な五里五里、わかり易い</li> </ul> <p>●新しいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域力不足は、周囲の人たちへの思いやりが足りないのでは</li> <li>新名神は城陽が東西の要衝であることを象徴する言葉</li> <li>城陽は常用のまち。継続して使うことなので人口は減少する事がない</li> </ul> <p>●ふる里として残していく！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古きも新しくもあるまち</li> <li>都会と田舎のいいところ取り</li> <li>心のふるさと</li> </ul> <p>●ターゲットを明確に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活気溢れる（若者が元気）</li> <li>子どもとお年寄りにやさしい町</li> </ul> <p>●留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードや語呂が良い</li> <li>「五里五里の里」は重視すべき</li> <li>フレーズが長い（漢字が多く硬い）</li> <li>「山背」まで入れるべきか</li> </ul> <p>代替案 安らぎ/心和む/落ち着いたきのある/楽しい・面白い 五里五里の里</p>	<p>●自然</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑いっぱい、花いっぱいのまち</li> </ul> <p>●産業・活力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業基盤の確立、住と職の接近</li> <li>活力、活性化、持続可能</li> <li>近隣の市町村とも協力し、インターチェンジの近くに交流施設（道の駅）を整備</li> <li>儲ける町 など</li> </ul> <p>●地域コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老若男女、笑顔で共生するまち</li> <li>住みよい町づくり、安心して住める町</li> <li>やさしい人間関係のある町</li> <li>ふれあいのある町（向こう三軒両隣）</li> <li>祭りを大事に、後世につなげる町 など</li> </ul> <p>●観光・特産物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源の確立、百姓頼みからの脱却</li> <li>特産物の更なる発展 など</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来像を見直すべき（緑と太陽の活力のまち、城陽）</li> <li>サブタイトルは必要か？山背五里五里は分かりにくい</li> <li>10年後のめざすまちの姿を示すキーワードとする</li> </ul>

## ～まちづくりの目標（政策目標）について、事務局案に対する意見交換を行いました～

●目標の数については各班とも異論は出されませんでした。一部キーワードを別の柱に入れたほうが良いという意見が出されました。また、目標の順番（優先度）については、「活力」「担い手」が重要であるという意見が多く出されました。

### ■各グループにて出された主な意見

事務局案	A	B	C
活力とにぎわいが生まれるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の神社、お寺、各々の合同大祭</li> <li>出身者が帰省しやすいまち</li> <li><b>東部丘陵地</b>を考えることが必要。金儲けできるまち</li> <li><b>地場産業</b>が、あまり知られていない</li> <li>ホームページ等での全国区的なPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新名神だけでない</li> <li>元気なまち、交流・人を呼び込む（スポーツと地域活動の促進）</li> <li><b>外国人</b>（特にアジア）、日本語学校</li> <li><b>山砂利採取跡の活用</b></li> <li>「生まれる」は要らない</li> <li>空家空地の対策必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民がつくる活力とにぎわい</li> <li>市民参加のまちづくり</li> <li>若者（<b>外国人</b>）に魅力のあるまち</li> <li>新名神、交通アクセス、農業の推進</li> <li><b>活発な産業の育成</b>、観光地</li> <li><b>地元の商店の活性化</b></li> </ul>
安心・安全に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全に遊び、学べる場の確保</li> <li><b>地震、台風等への救急体制が必要</b></li> <li><b>認知症、障がい者の問題解決</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉と医療があるまち</li> <li>子どもと老人にやさしいまち</li> <li>3世代同居</li> <li><b>「防犯・防災」を重視</b></li> <li>助け合いのしくみ化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通・防犯等連携の取れるまちづくり</li> <li><b>障がい者・高齢者が安心して暮らせるまち</b>、福祉先進都市の取り組み</li> </ul>
緑豊かで便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>「便利なまち」は「光り輝くまち」または「住みよく便利なまち」にする</li> <li>緑（環境）と便利（交通）は別物</li> <li>緑豊かで緑の中で暮らすまち</li> <li>五里五里には「便利」の意味もある</li> <li>※「<b>緑豊かで</b>」は「<b>安心・安全</b>」に入れるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年後も残したい緑、自然、里山、ふるさと、山紫水明、住みよいまち</li> <li>緑の具体策で人を呼び込む</li> <li>自然が身近にある町、里山</li> <li>市民が里山にして、老人から子どもまで親しめる山に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の改修、年寄り・子供が安全に歩ける道（特に歩道）</li> <li>全市内循環バス、古墳、神社、仏閣を大事にするまち</li> <li>都市部への交通アクセス</li> <li>山砂利採取跡地の開発</li> </ul>
未来の担い手を育てるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>未来の担い手（若者）を見直すべき</b></li> <li><b>若年者が対象のように思える</b></li> <li>幼稚園、学校等での地元の企業、農業の見学・体験学習が必要</li> <li>※「<b>住みよい便利なまち</b>」と「<b>未来の担い手を育てるまち</b>」を入れ替えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供だけではない、人は<b>財産（高齢者も含む）</b></li> <li><b>小中教育の充実を重視</b>、子供にとって本当に栄養になる教育</li> <li>女性が働ける環境づくり（子育てのまち）</li> <li><b>未来（活性化のため）の担い手</b></li> <li>多世代交流→継承していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産・学・行の連携（人材の流出抑制）</li> <li>子育て環境の達成、教養の充実</li> <li>子どもの声が聞こえるまち</li> <li><b>教育の充実</b></li> <li>スポーツの活性化</li> <li>※「<b>未来の担い手を育てるまち</b>」を「<b>安心・安全</b>」の前に移動すべき</li> </ul>
市民が主役のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の声が届くまち</li> <li>「主役」に「リーダー」のふりがなを</li> <li>専門分野を活かした活躍がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>城陽力（地域力）1つになる</li> <li>ボランティア数と活性化の増加</li> <li>60歳以上の市民の参加</li> <li>心が1つになるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティセンターを活用した取り組み</li> <li>市民協働の柔軟な推進体制</li> <li>市民の声が反映されるまち</li> <li>財政運営が必要となる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政運営について、「市民から信頼されるまち」ではなく、「安心してまかせられる」などを入れる</li> </ul>		

※各まちづくり目標の統合・分割、優先順位に関する意見



➤ 各グループからの発表後、小島先生に講評いただきました。

将来像について、特に五里五里に関しては、位置のみならず新しい意味を持たせることにより、みんなが共有できる概念になると考えられます。まちづくりの目標については、「にぎわい」「活力」に関する積極的な意見が出されており、城陽の特色であると感じられます。また、「担い手」については、住民として何ができるのかという視点から議論がなされた点が重要であると考えられます。さらに、「緑豊かで便利なまち」は、「便利で緑豊かなまち」とすることで城陽らしさが出てくるのではないのでしょうか。

～第4回は平成28年3月開催予定です～

「今後10年間で城陽市がめざすまちの姿（キャッチフレーズ）」及び「まちづくりの目標（政策目標）」について、様々なご意見を頂きました。今回の結果をもとに、次期総合計画の基本構想案を作成していきます。次回は平成28年3月に「城陽市を良くしよう！」をテーマとして開催予定です。

【お問合せ先】

城陽市役所 企画管理部 企画調整課

TEL:0774-56-4041 FAX:0774-56-3999 E-mail:kikaku@city.joyo.lg.jp

